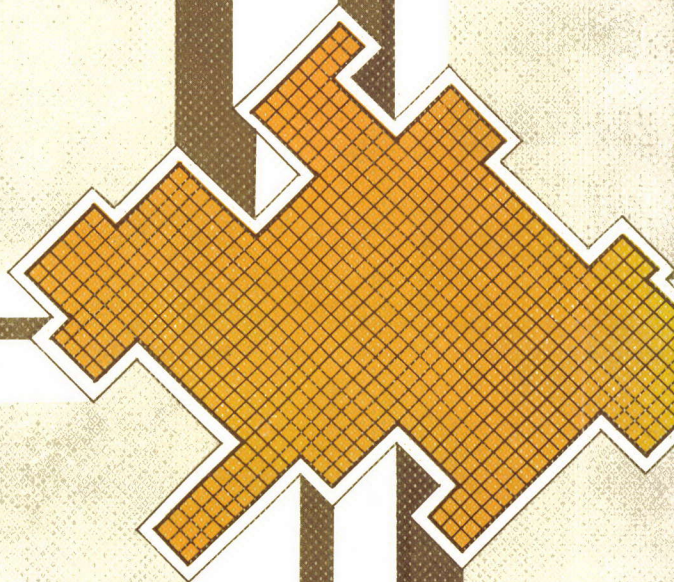


唯物論

創刊号

『唯物論』編集委員会編



特集 現代社会

- | | |
|-------------------------|-------|
| 障害者問題と人格の発達 | 矢川徳光 |
| 現代社会の家族と史的唯物論 | 嶋津千利世 |
| ベトナム戦争と先進国革命 | 芝田進午 |
| 現代社会論の視角 | 河村望 |
| 諸命題の現代的意義 | 長砂實 |
| 社会主義に関する古典的
現代革命と唯物論 | 江口朴郎 |

大月書店

レイトロー他編著／秋間実訳

四六判 各¥950

弁証法的・史的唯物論 上下

科学・技術の発展と自然科学の最近の諸成果にもとづき、現代の科学的世界観の全体像を明らかにする。社会発展の基本法則を平明・的確に叙述し、現実の具体的問題をもわかりやすく説明した最新の入門書

ランゲ編／真下信一訳

四六判 ¥1000

ヘーゲルとわれわれ —マルクス主義への哲学的最大遺産—

現代の理論的諸問題にこたえ、ヘーゲル哲学の根本問題に鋭く迫り、その豊かな思想がマルクス主義哲学に与えた偉大な遺産を鋭く究明。研究書としてはもとより、初学者にも学習テキストとして好個の書

林 直道著

四六判 各¥800

史的唯物論と経済学 上下

『資本論』の徹底的研究をとおして、史的唯物論の構築を試みた著者会心の書きおろし。マルクス主義経済学の歪曲にたいする厳しい理論闘争を展開し、平田清明氏の「市民社会と社会主義論」を全面的に批判

ラ・パンドセ編集委員会編／大枝秀一訳

四六判 ¥1000

史的唯物論と社会構成体論争

イタリア、フランスの代表的マルクス主義理論家であるセレーニ、グルックマンなどが展開している論争を紹介。高度に発達した資本主義国における変革の理論的基礎にかんする重要な問題として興味深い

岩崎允胤、宮原将平著

A5判 ¥2500

現代自然科学と唯物弁証法

マルクス主義哲学と物理学のそれぞれ最前線で活躍する両氏の共同研究の成果。現代自然科学の発展と諸成果にもとづき、その哲学的諸問題を鋭く究明。唯物論的自然観の新たな段階を画する意欲的試み

フィードラー著／岩崎允胤訳

四六判 ¥1000

自然科学と社会科学の統一

マルクスレーニン主義科学論の体系的展開を試み新実証主義哲学の提起する「統一科学」理論を批判的に分析。自然科学と社会科学の統一の現代的意義をマルクス主義世界観の中に展望したユニークな著作